

本質的な問い 「働く」とはどのようなことか。

単元名 Work & Myself ～働くことから見つける私の未来～

児童生徒の実態

- ・将来の夢や目標がある 71.4%、興味のある仕事について調べている 33.3%。将来を考えているが、行動に移せていない。
 - ・友達と話し合い、考えを深めたり広げたりしている 100%。
 - ・地域や社会をよくするために何をすべきか考える 75.0%
- 【総合的な学習の時間に係る生徒アンケート(4月中旬実施)より】

目指す具体の姿（育成を目指す資質・能力）

- ・今何をすべきかを考えたり、必要な情報を収集・取捨選択したりする等、将来に向けて行動しようとしている。（情報収集力、情報活用力、批判的思考力）
- ・課題解決に向けて、互いに意見を出し合いながら協力して活動している。（協働性）
- ・将来自分はどんな働き手になりたいかを考え、これからの進路や将来の自己実現に向けて、自分のできることを実践しようとしている。（挑戦心）

単元を貫く問い 働く上で大切なことは何か。
【探究課題 自分は将来、どんな働き手になりたいか。】

【第3次】（24時間） 課題 働くことへの考えを深めよう。～ワンモア職場体験・働くこと座談会を通して～

- 自己の体験、振り返りから
- 授業参観（先生、児童）
- 教材研究
- 担任との連携
- 模擬授業
- ワンモア職場体験
- 働くこと座談会（保護者・先生）

個別の問い

- ・職場体験ではどんな課題が残っただろう。
- ・ワンモア職場体験では、どんな課題意識をもって、どのように取り組んだらよいただろう。
- ・教員体験の活動を行うにあたって、どんな心構え、どんな準備が必要だろう。
- ・2年生の授業参観を行い、児童の様子で気付いたこと、先生の指導の工夫で気付いたこと等は何だろう。
- ・授業の計画をする上で大事なことや必要なことは何だろう。
- ・個に応じた対応をするために、どんな準備が必要だろう。
- ・担任の先生との指導案検討や授業構想の連携から、どんな課題が見えたか。また、どんな改善が必要だろうか。
- ・模擬授業とその後の反省会で出た意見から、どんな課題が見えたか。また、どんな改善が必要だろうか。
- ・教員体験の活動を終えて、得たことや考えたことは何だろう。また、自身の課題の解決につながっただろうか。
- ・「働くこと座談会」では、大人たちとどんなことを議題にして話し合ってみたいか。
- ・「働く」とは、どういうことだろう。 ・自分は将来、どんな働き手になりたいか。

- （しかけ）
- ・職場体験学習で学んだことを更に深めるために、校内でできる職場体験として「教員体験」の活動にチャレンジする。
 - ・担任教師との授業打ち合わせや指導案検討等を通して、「教師」の大変さややりがい等、働くことに係る新たな価値観に出合う。
 - ・二度の職場体験を通して学んだことや成長したことを整理するとともに、自身の課題を解決することができたかを振り返る。
 - ・保護者や先生、地域の人を交えた「働くこと座談会」を開き、多様な価値観に触れることで、考えを更に深める機会にする。
 - ・単元の学習を振り返り、「働くこと」についての自身の考えの変容や深まりに気づき、将来の生き方について考えるようにする。

【第2次】（36時間） 課題 リアルな職場を体験しよう。

個別の問い

- ・職場体験先の事業所についてどんなことを調べようか。
- ・職場体験でどんなことを研究したいか。
- ・職場体験に行くにあたってどんなことが必要だろう。
- ・研究テーマを解決するために、体験にどんな姿勢で臨み、どんなことを質問する必要があるだろう。
- ・職場体験を終えて、得たことや考えたことは何だろう。
- ・「働く」とはどのようなことだろう。
- ・事業所はどんな人材を求めているだろう。
- ・職場体験の目標や学びたいことを定め、決意書を書こう。
- ・事前訪問をする前に、どんな準備が必要だろう。
- ・お礼状にはどんなことを盛り込もうか。
- ・「働く上で大切なこと」は何だろう。

インターネット

外部講師による
マナー教室

職場体験学習
（地域の仕事人）

- （しかけ）
- ・各自で「研究テーマ」を設定することで、目的意識を持ち、高い意欲をもって職場体験に臨めるようにする。
 - ・職場体験後の振り返りを大切に、職場体験先への感謝の気持ちを、学んだことを踏まえて伝えられるようにする。

【第1次】（10時間） 課題 今の自分の思い、働く人たちの思いを知ろう。

個別の問い

- ・「働く」とはどのようなことだろう。
- ・「働く上で大切なこと」は何だろう。
- ・「職場体験の目的」は何だろう。
- ・働いている人の思いをどうやって調べよう。
- ・アンケートやインタビューで、誰にどんな質問をしたら、自分たちの学習の参考になるだろう。
- ・職業調べはどんな情報を収集しよう。
- ・仕事選びの際、自分たちはどんな価値観を大事にしたいだろう。
- ・ここまでの学習を踏まえ、自分なりの目的や伸ばしたい力を考えて、体験先の事業所を選ぼう。

9年生からのビデオメッセージ

インターネット、本、新聞

保護者や先生へ、調査活動
（インタビュー・アンケート）

自他の価値観

- （しかけ）
- ・9年生からのビデオメッセージを視聴し、職場体験に興味を持つとともに、体験に向けて大切なことについて知るきっかけにする。
 - ・働くことに関する自分の価値観を表出し、整理することで、自己理解を促す。
 - ・働く人への調査（インタビュー・アンケート）から、多様な価値観の存在に気づき、自己の考えを深めるきっかけにする。

3サイクル 「働くことについての考えを深めよう～ワンモア職場体験・働くこと座談会を通して～」

【課題の設定】
 ・残った課題の確認
 ・「もう一度職場体験をしたい。」
 ・校内でできる職場体験に挑戦

【職場体験で残ったみんなの課題】
 ① 機物的な行動
 ② コミュニケーション力 (話す力、声の大きさ)
 ③ 挨拶
 (大きな声で、自分から)
 ④ 段ボールを動かす
 ⑤ 相手に応じた話し方

【情報の収集】
 ・授業対象の児童の実態把握のための授業参観
 ・担任との授業打ち合わせ
 ・授業の組み立て方、教材研究

これからの学習で、前回課題に残ったことを克服できるように工夫して取り組みたいです。二年生さんたちの貴重な一時間を任せてもらえるので同じグループの人たちと協力しながら頑張りたいです。

もう一度職場体験をしたい！

授業参観をさせてもらって気づきや活かせようなどが何個もありました。グループで共有して納得することや新しい発見もありました。この参観で分かったことを活かしながら本番に向けて取り組みたいです。

先生は授業をするときに色々なことを工夫して考えて準備していて大変だと思いました。



【まとめ・表現】
 ・ワンモア職場体験 (教員体験) 本番
 ・「働くこと座談会」の開催
 ・単元のまとめ、振り返り

**課題を踏まえて
ワンモア職場体験**

【整理・分析】
 ・指導案、板書計画、教具作り
 ・担任との連携 (指導案等の改善)
 ・模擬授業の実施と反省・改善



先生や担任との打ち合わせをして、先生方は1時間の授業のために、たくさん工夫や準備をされていることがわかりました。また、授業の流れや板書計画をたてる時には、一旦小学生2年生の目線で考える必要があることに気づきました。いただいたアドバイスや自分の気持ちをもち、指導案を修正していきたいです。



二度の職場体験や「働くこと座談会」で今の生活ではわからなかった「働くこと」について知ることができました。全く考えていなかった未来の自分の姿を想像して、こうなるためにこれをしてみたいと考えるようになりました。これから、この単元で学んだことを活かして将来についてゆっくり考えていきたいと思いました。

模擬授業を実際やってみると理想とかけ離れた授業になってしまった。児童役の人たちからとても良い改善案やアドバイスをもらったのでこれらを意識して授業の計画を繰り返していきたいです。

2サイクル 「リアルな職場を体験しよう。」

【課題の設定】
 ・体験先の決定
 ・個々で研究テーマを設定
 ・決意書の作成

〈研究テーマを設定して〉
 私は「この仕事を選んだ理由」を研究テーマにしました。理由は数ある仕事の中で、なぜこの仕事を選んだのかを知りたかったからです。何を大切に仕事選びをしたのか、どういった所に惹かれて仕事を続けているのかなど将来に役立つ知識を得られたらと思ってこの研究テーマにしました。この研究を自分の将来の仕事選びに活かしたいです。

【情報の収集】
 ・必要なマナーを学ぶ。(マナー教室)
 ・事業所を事前訪問し、必要な情報を入手
 ・職場体験、職業人へのインタビュー

【まとめ・表現】
 ・研究レポートの発表
 ・心を込めてお礼状を書く。
 ・「働くとは？」

今日は4月の頃との働くことに対する考えの比較をしました。働くとはどういうことかについての考えが大きく変わっていました。最初の頃は自分のために働くと考えていたけど今は誰かの役に立つためなど自分のことばかりではない考えになっていました。



目的意識と感謝の思いをもって職場体験へ

働く人の姿を見て、働く上で努力することはとても大切だと思った。

職場体験をしてから、働く意味や働く上で大切なことが変わりました。職場の方にやりがいなど聞いた時、ほとんどの方が家族のためや誰かのためと答えていて、働く意味は自分のためだけではないんだなと思いました。自分が大人になったら誰かの役にたてる仕事についてやりがいを作って楽しく働きたいです。



「働くこと」を実体験

【整理・分析】
 ・職場体験のまとめ、研究レポートの作成
 ・自己の変容や成長を捉える。

体験で得たこと
残った課題

今までは地域の方たちに積極的に挨拶したりお話ししたりできなかったけど、この3日間で大きな声で進んで挨拶できるようになったし、多くの人とコミュニケーションをとれるようになった。成長できたと思う。

子供と遊んだり、話したりするときの姿勢やパソコンに向かって仕事している姿なども違ってて、切り替えが大切だと感じた。

1サイクル 「今の自分の思い、働く人たちの思いを知ろう。」

【課題の設定】
 ・「働くとは？」
 ・「働く人の思いを知り、自分の考えを深めたい。」

仕事についてはしたこともないしなんの知識もないけどこれから職場体験で少しでも何か感じたりわかったりすることが一つはあると思うのでそれを将来にいかせていけたらいいなと思いました。また、9年生からのメッセージで積極的にいうのを言っていたので僕も積極的にいってみたいと思いました。

【情報の収集】
 ・働き手の思いを知るための質問事項を考える。
 ・働いている人の思いを調査 (保護者：インタビュー、先生：アンケート)

【まとめ・表現】
 ・職場体験で学びたいことや付けたい力について校長先生に発表
 ・ここまでの学習や自分の興味・関心を踏まえて職場体験先希望調査を作成

「働く」ってどういうこと？

自分が就きたい仕事について調べてみて、就きたい職業に前より興味が出てきたので、これからも家族や先生の話などから職業について考えを深めていきたいです。



まとめ・表現

情報の収集

【整理・分析】
 ・自己の価値観や興味を整理
 ・調査結果 (保護者・先生) の分析・考察
 ・様々な人の考えと自分の考えを比較し、考えを深める。

働いている人の思いを知りたい
自他の価値観の比較



職場体験は地域の方々や小さい子供たちやお年寄りの方々など関わったり、仕事の大変さやどんなことをしているのかなど色々な事が知れると思うのでとても楽しみです。どの職場になっても年上の方々への礼儀を忘れずに本気で取り組みたいです。

整理・分析

どの職業も人とのコミュニケーションとメリハリは大切だと思いました。また、誰かの感謝や笑顔が仕事の支えとなるんだと思いました。そんな支えを職場体験で実感したいです。

職業のことを知れば知るほど自分の中に自分にできるのか？などの疑問が出てきたけれど家族や先生のインタビューでできるのかではなくやる、やり遂げるという意識が感じられて自分もなりたい職業を全力で目指していきたいです。